

野を80秒間露出した時の写真である。夜空が低空域ほど明るくなっている違いは判然としている。光因の具体例をあげると、街燈や外燈の増加、数十km先にある隣町の大規模で過剰な街路燈、長距離電波航法援助システムが放つパルス光等さまざまである。人工光による光害の影響は、半径100km以上にも及ぶという報告もある。光害から星空を守ることを目的として、1989年岡山県美星町は「光害防止条例」を制定、¹³⁾第3条において、国際天文学連合の勧告にならい、人工光による夜空の明るさの増加の程度が、自然の状態の夜空の明るさの1割を超えないようにすることを目標に対処しあげた。⁴⁾人口集中地域と夜空の明るさには確かに相関があることがわかつてきただ以上、明るい都市圏からある程度離れた地域が暗い夜空を保守する価値は高いといえる。

今日人と自然のかかわり方やエネルギー利用のあり方を考え論じるうえで、星空観察のデータは重要な役割を果たすに違いない。夜空を媒介にして地域の自然認識が深められるなら幸いである。

(松戸市立和名ヶ谷中学校教諭)

- 2) ————— (1984) 天文ガイド2月号
- 3) ————— (1993) 天文ガイド4月号
- 4) Thomas A.Croft (1983) 宇宙から見た夜の地球、日経サイエンス社
- 5) 香西洋樹 (1988) 天文月報、日本の夜空の明るさ、日本天文学会
- 6) Garry Hunt (1990) The Atlas of the solar system Crescent Books .NY
- 7) 日本環境協会編 (1993) 全国星空継続観察の実施の手引き、夏期冬期用
- 8) ————— (1993) 全国星空継続観察の実施結果
- 9) ————— (1994) あおぞら星空観察入門
- 10) ————— (1990~1995) 全国星空継続観察の実施結果
- 11) 坂田俊文 (1993) 地球、丸善株式会社
- 12) 和歌山満 (1995) 空に親しむ観察発表会 スターウオッティング雑感、千葉県環境部大気保全部
- 13) 斎藤文一、武田康男 (1995) 空の色と光の図鑑、草思社

参考文献

- 1) 誠文堂新光社編(1982) 天文ガイド9月号

文化の郷設置経過

新宮 廣

わが国は経済成長を挙げて社会が安定して、文化活動が盛んになって俳句、短歌、川柳の愛好者が、先輩の遺作を後世に残したい。そして自分達の作品も残したいという念願が高まつたところから、別途適地を選定して、最も理想的な景観の地に3ヵ年で、案内碑1基、銘盤2基、碑測6基、碑17基、計26基を完成した。

- 平成4年6月10日 新宮 廣、浦幌町教育委員会社会教育課長石川安次、同庶務係長後藤秀彦さんに趣旨説明。協力要請 同年7月6日現地調査協議
- 10月3日 俳句会会长細川幸八、短歌会会长斎藤秀子、川柳会会长竹村善平、新宮 廣発起人会協議
- 10月13日 建設希望者打合会 於中央公民館、経過趣旨説明全員了解総会に移行
浦幌町文化の郷設置委員会、設立総会会則決定役員選出
- 10月19日 浦幌町教育委員会教育長浅川眞治郎、石川課長、後藤係長に会の発足を報告
農村環境改善センター、郷土博物館用地に建立要請
- 10月26日 浦幌町教育委員会教育長浅川眞治郎殿宛 文学碑（歌碑、句碑等）の設置申請書提出
- 11月6日 先進地町村調査研究視察一行8名
中札内村札内川園地“ピョウタンの滝文化の森”、芽室町ピウカ公園“芽室句碑の森、幕別町依田公園“十勝俳句村”

- 11月24日 設置についての覚書案協議
- 平成5年1月25日 歌碑、句碑の標準設計図書の提出方依頼
- 2月 同設計書受理
- 4月15日 三役会議 設計書検討、建立希望者取まとめ
- 6月8日 三役会議 本年建立者まとめ、業者調査打合
- 6月19日 音更町丸宝石材調査打合一行4名、会社訪問。会社、原石視察、社長と協議
- 7月23日 本年建立者打合会
- 8月9日 本年建立者丸宝石材訪問協議各原石決定、価格協議建立打合（一行11名）
- 9月1日 建設契約書締結、案内碑1基、碑測3基、歌碑句碑10基小歌碑1基。彫文原案まとめ終了
- 9月9日 建立位置協議柱打ち、教育委員会社会教育課長田子利隆、庶務係長吉田裕明、役員立会
- 9月13日 文学碑（歌碑、句碑等）設置覚書交換
- 9月30日 碑の建立作業
- 10月14日
- 10月29日 竣功除幕式執行49名参列、浦幌神社神主背古政裕儀式執行懇親会実施
- 10月29日 工事代 2,780千円支払
- 10月30日 北海道新聞、十勝毎日新聞に掲載
- 平成6年4月6日 役員会 会計報告、会計監査、平成6年度事業の推進
- 4月15日 役場企画商工課横田係長に十勝支庁振興助成要請
- 5月9日 丸宝石材、共張り、4基の傾き修正
- 6月29日 監事故中井与一殿逝去 30日通夜、7月1日葬儀 於護教寺 香典贈る
- 8月30日 本年度建立者打合会 於公民館
- 9月17日 本年度建立者帶広市小林石材訪問協議各原石決定、価格協議建立打々（一行9名）
- 9月29日 彫文原案まとめ発送、建立位置協議柱打ち、教育委員会小山課長、吉田係長関係者
- 10月17日 建立工事
- 10月22日 役員と建立者合同打合会議
- 11月5日 文学碑除幕並びに総会、懇親会実施24名出席。工事代金1,160千円支払
- 11月27日 東北海道新聞掲載
- 平成7年3月27日 役員会、本年建立者取まとめ
- 4月26日 北の生活文化振興事業補助金、町長宛要望書提出
- 5月25日 渋谷健一殿逝去、26日通夜、27日葬儀。於吉野公民館 香典贈る
- 6月5日 北の生活文化振興事業補助金内定、8月以降着工するよう指示
- 8月29日 ク ク 通知、補助金交付申請書提出
- 9月6日 役員会本年建立者まとめ、補助金の経過説明、銘盤文字、負担金徴収、預金口座新設
- 9月11日 北の生活文化振興事業補助金交付、決定通知
- 9月14日 原石調査協議、銘盤建設契約
- 11月6・7日 建立工事完成
- 11月14日 役員会 除幕竣工祝賀会準備
- 11月25日 除幕竣工式並びに祝賀会、総会、工事代金支払1,139千円
- 12月1日 北の生活文化振興事業実績報告書提出
- 12月7日 東北海道新聞掲載
- 12月8日 十勝毎日新聞掲載
- 12月14日 北の生活文化振興事業補助金確定
- 12月18日 NHK「ふるさと通信」文化の郷放映
- 12月22日 北の生活文化振興事業補助金300千円受領



文化の郷



齊藤 秀子（作者たもつ）



齊藤 秀子（作者秀子）



山本 キノ（作者き乃）



高柳政五郎（作者高柳整吾）



菊地 修 (作者秋麦)



細川 幸八 (作者港哉)



佐藤長榮



島田 晃一 (作者島田須磨子)



西村 幸子 (作者柴光)



中井 与一 (作者瑞抱)



中村光夫句碑建立賛助会 (作者花孟)



松本 俊男 (作者蒼路)



渋谷 ハル (作者春女)



渋谷 健一



守屋 友博 (作者守屋文堯)



元木 茂 (作者元木苔萃)



元木 茂 (作者元木喜代)



阿部 礼子



干場 良子 (作者高沢宮江)



福沢 米子 (作者米子)



福沢 米子 (作者福沢一郎子)



後藤 年子 (作者年子)



柴田 弘子 (作者弘子)



山崎 辰雄 (作者辰雄)



山崎 阿巳

森松 公平 (作者 森山子)
4人

山村 幹雄



福沢 米子 (作者福沢旗夫)